

平成21年産水稻の8月15日現在における生育状況 (京都府)

- 生育は「やや不良」 -

【調査結果の概要】

京都府における平成21年産水稻の8月15日現在の生育は、「やや不良」で推移している。

第1表 8月15日現在の生育状況

区 分	生育の 良 否 (草丈の 長 短 (茎数の 多 少)
		平	年 比 較	
府 計	やや不良	平年並み		やや少ない
南 部	やや不良	平年並み		やや少ない
北 部	やや不良	平年並み		やや少ない

【解 説】

- 1 田植最盛期は、平年に比べ1日遅くなった。
- 2 生育は、5月下旬から6月上旬にかけての日照不足の影響により、初期生育は抑制された。その後、6月中旬から下旬が高温・多照に経過したことから、生育は促進されたものの、7月以降が日照不足に経過したため分けつは抑制され、茎数はやや少なくなった。

草丈については平年並みであるが、7月以降の日照不足の影響により、稲体はやや軟弱となっている。

以上のことから、生育は「やや不良」で推移している。

この統計調査結果は、以下のアドレスからご覧いただけます。

<http://www.maff.go.jp/kinki/toukei/mn/sakutuke/index.html>

この統計調査における調査の目的、調査の対象などは、【調査の概要】P3に掲載しています。

3 出穂は、南部では7月以降概ね高温に経過したため、最盛期は8月12日で平年に比べ1日早くなっており、北部では7月下旬以降やや低温で経過したため最盛期は8月2日で平年に比べ1日遅くなった。

以上のことから、京都府全体の出穂最盛期は8月8日で、平年並みとなった。

4 被害は、北部地域において8月9日から10日の大雨による浸冠水及び土砂の流入による倒伏の発生などがみられる。また、5月下旬から6月上旬及び7月以降の日照不足の影響が懸念される。

第2表 京都府の田植状況

区 分	田 植 期				
	始 期	最 盛 期	終 期	最盛期の遅速	
				平年比較	前年比較
府 計	5月 5日	5月22日	6月 4日	1日遅	1日遅
南 部	5月 5日	5月27日	6月12日	並 み	並 み
北 部	5月 4日	5月15日	5月25日	並 み	2日遅

注：田植期の始期は、田植済面積割合が5%、最盛期は同50%、終期は同95%に達した期日である。

第3表 京都府の出穂状況

区 分	出 穂 期					出 穂 済 面積割合	対平 年差
	始 期	最 盛 期	終 期	最盛期の遅速			
				平年比較	前年比較		
府 計	7月27日	8月 8日	...	並 み	1日遅	% 76	ポイント 0
南 部	7月26日	8月12日	...	1日早	1日早	58	0
北 部	7月27日	8月 2日	8月15日	1日遅	3日遅	96	1

注：1 出穂期の始期は、出穂済面積割合が5%、最盛期は同50%、終期は同95%に達した期日である。

2 「終期」欄の「...」は、その期日に達していないことを示す。

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の水稲調査の中の作柄概況調査として実施し、水稲の生育・作柄状況を明らかにすることにより、生産対策、需給調整、技術指導等の農林水産行政推進のための資料とすることを目的としている。

2 調査対象数

作況標本筆調査：150筆 作況基準筆調査：8筆 巡回・見積り：26市町村

3 調査事項

は種期の遅速、田植期の遅速、活着の良否、草丈の長短、茎数の多少等の生育状況、被害状況、耕種状況。

4 調査期間

8月15日現在で水稲の生育状況を調査した。

5 調査方法

調査は、作況標本筆、作況基準筆に対する職員による実測調査及び作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより行った。

6 集計方法

調査事項について、作況標本筆調査結果を集計し、作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより補完して取りまとめている。

【利用上の注意】

- 1 本調査の生育状況は、草丈の長短、茎数の多少等の計測結果、生育の遅速、被害の発生状況等を総合して、8月15日現在における稲体の状態を調査したもので、作柄を予測したものではない。
- 2 作柄表示地帯の区分は次のとおりである。

作柄表示地帯	包 括 都 市
南 部	京都市、宇治市、亀岡市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、木津川市、南丹市、乙訓郡、久世郡、綴喜郡、相楽郡、船井郡
北 部	福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、与謝郡

問い合わせ先

本統計調査結果について

近畿農政局 統計部 生産流通消費統計課 生産統計第2係

電話：(代表) 075(451)9161 内線2653 (直通) 075(414)9650

農林水産統計全般について

近畿農政局 統計部 統計企画課 企画係

電話：(代表) 075(451)9161 内線2623 (直通) 075(414)9620



2010年世界農林業センサスを平成22年2月1日現在で実施します。

農林業センサスは農林業の生産・就業構造、農山村の実態を総合的に把握するため、一定規模の農林業を営まれている方等を対象に5年ごとに行う調査です。調査員がお伺いしますので、ご協力をお願いします。

農林業センサスホームページ : <http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc/>

お問い合わせ先: 近畿農政局統計部経営・構造統計課(TEL 075-414-9630)